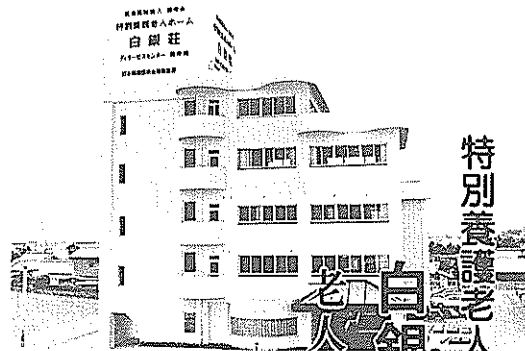


特別養護老人ホーム

白銀荘オープン 老人福祉大きく向上



状態や家庭の状況に細かく対応できる公的施設の充実などが望まれています。

このようななか、社会福祉法人藤寿会（藤原一紫理事長）では、日本船舶振興会や県、市の補助を受け、特別養護老人ホーム「白銀荘」を建設。同ホームは、敷地面積二〇三〇・五四平方メートル、延べ床面積二四九〇・四九平方メートル、総事業費六億一千五百万円をかけて、このほど完成、定員は五十人です。

現在、南国市で、六十五歳以上の高齢人口の占める割合は一六割で、全国的に見ても早いペースで高齢化が進んでいます。厚生白書によると、高齢者のうち八割が寝たきりになった場合、家族による介護を希望していますが、世帯人員の減少や、女性の社会進出の増大など、家庭をめぐむ環境は大きく変化しています。また、高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者世帯なども増加しており、高齢者の



最新の医療機器がそろそろ

このホームは、家庭では十分な介護を受けることが困難な高

齢者を対象としており、心身の健康管理や環境、医療面でも万全の体制でのぞむことにしています。同時に家庭での介護が病気や旅行、事故等の理由で一時的に受けられなくなった方を対象に、一週間程度のショートステイサービスも実施され、教養室の開放など地域との交流や入

居者の自立も図っていくことにしています。

また、十月からは通苑による入浴、食事等のサービスを行うデイ・サービスセンター「藤寿苑」も開所。これらの施設の完成により、家庭における高齢者の介護の支援体制の充実に大きく貢献するものと期待されます。

やめろ！シナナー！

シナナー遊び

南国管内で、昨年シナナーの乱用などのため補導された少年は、二十二二人。六十三年、六十二年などと比べ、二倍以上の件数となっています。今年も上半期のシナナー乱用者検挙数九件、覚醒剤四件と、多い状態が続いています。成人については、覚醒剤は六十三年に比べ大幅に減ったものの、シナナーについては七件から十五件と大幅に増加。

至らなくても、体や心に次のような害を及ぼしてしまっています。体に及ぼす害

シナナーや接着剤を吸っていると、精神に異常をきたしたり、大脳が萎縮するなどの作用があり、ときには死にすることもあります。県内でも乱用による死亡者が毎年出ており、そこまで

〇呼吸困難
〇心（精神面）に及ぼす害
〇頭がぼんやりし、注意力や理解力、判断力がなくなる
〇幻覚症状に襲われ、自殺や事故につながる、ひどい場合は廃人になる

このように恐ろしいものなのですが、シナナー乱用は後を絶たず、検挙や補導をされるのは氷山の一角。ほかにもたくさん乱用者がいると見られています。家庭では「まさかうちの子が」という意識などで、家族から連絡があるのはかなりひどい状態になってから。

シナナーを始めたのは、ほとんどが「友達に誘われて」。身近なところにきっかけは転がっています。取り返しがつかないことにならないように家庭と地域が一体となってシナナーなどの薬物乱用を防止しましょう。シナナーの乱用などでお悩みの方は、保健所や少年補導センター、警察署、県保健環境部薬務課にお気軽ににご相談ください。

シナナー等乱用少年検挙補導状況の推移

